

8 環境活動と市民の参加

▶ 現況と課題

◆ 今回の計画策定にあたっては、まちづくり研究所による講座などの活動や、ボランティアによる市民環境懇話会などが活動しています。しかし、アンケートでは、環境行事や活動に参加している市民は少なく、市民環境懇話会などの活動は現状では非常に貴重なものといえます。

また、事業者からは、環境活動の情報や企業間連携を求める声が高く、取り組みのきっかけをつくっていくことが重要となっています。

今後は、市民や事業者の自主的活動を広げていくため、活動の拠点や経済的な支援などの体制づくりが求められています。

◆ 今回の計画策定では、審議会や市民環境懇話会をはじめ、多様な手法で市民参加の機会をつくり、取り組んでいます。しかし、市民ニーズに対応できる行政サービスの柔軟性や質の向上が求められる中で、今後はより広い意見反映の場をつくっていくことが重要となっています。

また、国や県、教育・研究機関や市民活動との交流・連携により、協働を支援するためのネットワーク形成が必要となっています。



市民環境懇話会



環境審議会

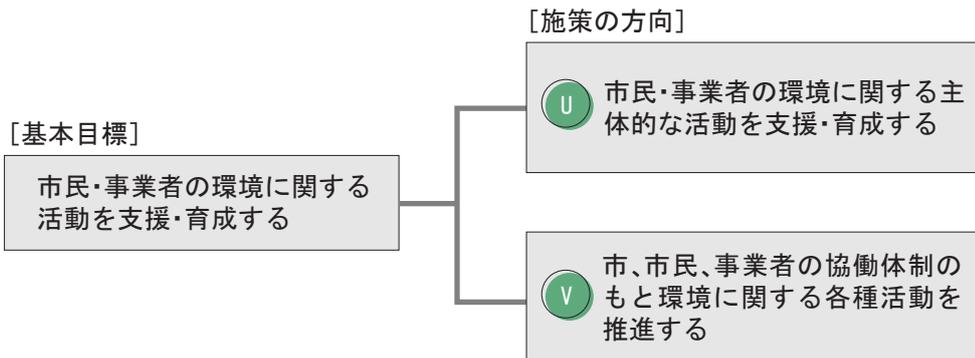
基本目標
(8)

市民・事業者の環境に関する活動を支援・育成する

管理指標

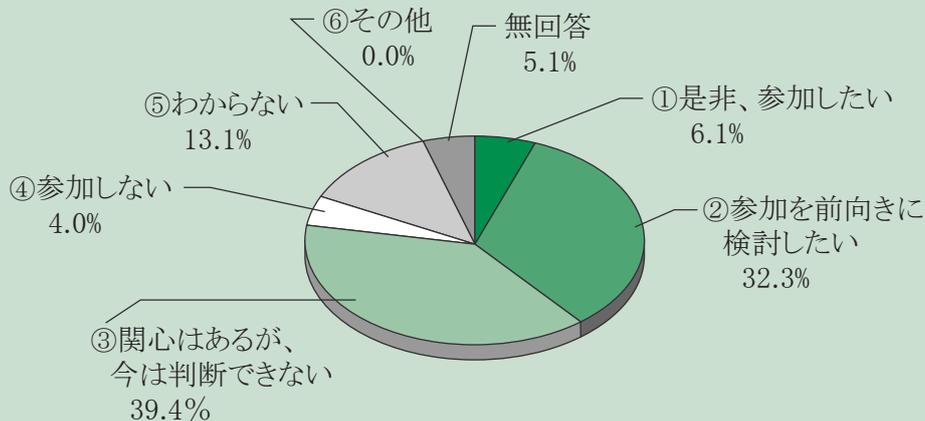
- 環境活動団体の登録数、20団体以上を目標とします。
- 環境活動のリーダー・指導員数を小学校区ごとに3人以上養成します。
- 市民アンケート調査での環境に関する活動への市民参加率を60%に引き上げることを目標とします。

施策の方向



環境保全ネットワークに対する事業者の参加意向は…

[環境保全ネットワークへの参加意向]



出典：「平成12年度塩竈市環境アンケート」

市民・事業者の環境に関する主体的な活動を積極的に支援するとともに、リーダーや環境学習を担う貴重な人材の育成及び活動の場の提供など、活動しやすく、かつ、新たな活動が生まれやすい環境づくりに努めます。

また、それら環境活動の情報・交流拠点や新たな環境活動支援制度の整備を図ります。

具体的施策

- 活動支援・人材育成など、環境活動の拠点となる施設を整備します。

- ◇環境情報センターの整備【再掲】

- 環境活動の支援制度をつくり、充実していきます。

- ◇環境活動サポートシステムの整備

- ◇環境NPO・市民活動等への業務委託の推進

- ◇環境活動支援基金の検討

- 環境活動への参加を促進し、人材を育成していきます。

- ◇環境活動への参加促進

- ◇環境活動サポートシステムの活用推進

- ◇自然観察ボランティア指導員等の育成

- ◇環境リーダー・団体等の登録制度の導入



市民環境懇話会発表会

V 市、市民、事業者の協働体制のもと環境に関する各種活動を推進する

環境に関する行政施策等への市民参加の機会を、世代や職業の別に関わらず誰もが自分の時間の範囲内で参加できるよう、多様な手法で拡大していきます。

また、市・市民・事業者がそれぞれに知識・技術や人材を提供し合い、環境に関する取り組みを協働で進めることができるしくみづくりを推進します。

具体的施策

- 環境に関する行政施策等への市民参加の機会を拡大していきます。
 - ◇ 環境審議会委員等への市民公募、定期的な懇談会の開催
- 企業、団体、高等教育機関等との環境に関する協力・連携体制を強化していきます。
- 隣接自治体などとの環境に関する広域的な協力・連携体制を築いていきます。
- 市民・事業者・市のパートナーシップを築き推進します。
 - ◇ 「(仮称)環境基本計画推進協議会」の設置、活用推進
 - ◇ 市民・事業者・市の交流機会の拡大
 - ◇ 市民・事業者・市の協働事業の推進



ワーキンググループ



地区別懇談会